

令和7年度シラバス記入例

授業科目名	学習・発達論		
単位数	2		
授業形態	講義		
講義コード	9999		
授業担当者氏名	〇〇 △△		
授業の到達目標 (ディプロマポリシーとの関連)	(1) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習過程について、包括的に説明できる。(DP3・DP6) (2) 理解した知識や考え方を、家庭や教育現場において生じる心理的課題に対して適用できる。(DP6) (3) 「心理学を学ぶ」のではなく、「心理学で考える」ことを具体的なレベルで理解できる。(DP6)		
授業概要	子どもたちを可能な限り正確に理解・把握し、今後の成長にむけて、より適切に関わろうとすることを「教育」活動と呼ぶならば、この授業では、心理学的知見をベースとした「教育のヒント」を紹介することになる。 効果的な教育や保育を展開するためには、発達心理学及び教育心理学の基本事項を具体的なレベルで理解することが重要である。そこで、教育や保育の問題を小学校や幼稚園、保育所という現場から見るだけでなく、子どもが育つ家庭や社会の状況を分析しながら、子ども一人一人の発達を踏まえた対応(様々な発達上の心身の障害を含め)を考える。また養育者の教育的要素に関する相談にも対応できるように、理論と実践に関して、講義を進める予定である。		
科目ナンバリング	1-AAA-1-A01-1-1		
科目ナンバリングについて	ナンバリングとは、授業科目に各々の番号を付すことで、学問分野や学修の段階等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことです。科目ナンバーは次のように構成されています。 1 - AAA - 1 - A01 - 1 - 1 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ①設置 大区分(大学・短大) ②設置 小区分(学部、学科、専攻等) ③科目分類 大区分(共通科目、専門科目等) ④科目分類 小区分(学問分野を体系化し分類) ⑤配当学年 ⑥科目種別(卒業に係る必修・選択の区分) 詳細は下記をご覧ください。		
科目ナンバリング参照ページ	https://www.tokyo-kasei.ac.jp/...		
授業の特徴	特徴	該当	
	A: 課題解決型学習(PBL) 企業、自治体等との連携あり	-	
	B: 課題解決型学習(PBL) 連携なし	-	
	C: 討議(ディスカッション、ディベート等)	-	
	D: グループワーク	○	
	E: プレゼンテーション	○	
	F: 実習、フィールドワーク	-	
	G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	-	
	H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)	○	
	I: 反転授業	-	
	J: 外国語のみで行われる授業	-	
	K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業	-	
実施形態	対面授業科目		
実施形態について	※本学では、授業科目を以下のとおり分類しています。 対面授業科目 : 授業回数の全部あるいは授業回数半数以上を対面で行う授業科目 メディア授業科目 : 上記「対面授業科目」以外で、主にメディアで行う授業科目 ※上記実施形態と異なる授業回がある場合は、以下「授業計画」欄に記載しています。		

令和7年度シラバス記入例

<p>授業計画</p>	<p>第1回 オリエンテーション（授業の方法、成績評価の説明及び心理学基礎事項の確認）【担当：〇〇】 第2回 テーマ1『心の授業』ガイドブックより 1)自分ってなんだろう【担当：〇〇】 manabaを通じた意見表明や回答データ集計 第3回 テーマ1『心の授業』ガイドブックより 2)ホントの自分をとりにどせ【担当：〇〇】 manabaを通じた意見表明や回答データ集計 第4回 テーマ1『心の授業』ガイドブックより 3)自分づくりをはじめよう【担当：〇〇】 manabaを通じた意見表明や回答データ集計【担当：〇〇】 第5回 テーマ1『心の授業』ガイドブックより 4)自分づくりの心理学【担当：〇〇】 manabaを通じた意見表明や回答データ集計 第6回 テーマ2「学習・発達論」での学びを充実させるための「学び方のトレーニング」前編【担当：〇〇】 自己紹介と傾聴スキルのトレーニング 第7回 テーマ2「学習・発達論」での学びを充実させるための「学び方のトレーニング」後編【担当：〇〇】 グループワークを通じたトレーニング 第8回 テーマ3 子どもの「感情・情緒」面への心理学的支援・指導を考える。【担当：〇〇】 第9回 テーマ3 子どもの「知性・知力」面への心理学的支援・指導を考える。【担当：〇〇】 第10回 テーマ3 子どもの「意志・意欲」面への心理学的支援・指導を考える。【担当：〇〇】 第11回 テーマ4 子どもの発達における心身の様々な障害 1)基礎事項の理解【担当：〇〇】 映像教材に基づくディベート 第12回 テーマ4 子どもの発達における心身の様々な障害 2)対応方法の心理学的理解【担当：〇〇】 映像教材に基づくディベート 第13回 授業内容に関するグループ・ディスカッションとその結果発表【担当：〇〇】 manabaを通じた感想や意見、提案の表明 第14回 【メディア授業（オンデマンド配信）】授業総括（授業の内容整理と内容補充）【担当：〇〇】 全受講者の共通理解を深めることを目的として、授業内容の総括を行い、それぞれのクラスから出た質問にまとめて回答を行うため、メディア授業で実施</p>			
<p>授業外学修 予習(事前学修)</p>	<table border="1" data-bbox="443 1128 1377 1274"> <tr> <td data-bbox="443 1128 616 1205">各授業</td> <td data-bbox="616 1128 1377 1205" rowspan="2">教科書やノートの読み直しやまとめ直しをすること。それを指定された用紙に行う。次回の授業の際に机間指導で教員がチェックする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1205 616 1274">[100分]</td> </tr> </table>	各授業	教科書やノートの読み直しやまとめ直しをすること。それを指定された用紙に行う。次回の授業の際に机間指導で教員がチェックする。	[100分]
各授業	教科書やノートの読み直しやまとめ直しをすること。それを指定された用紙に行う。次回の授業の際に机間指導で教員がチェックする。			
[100分]				
<p>授業外学修 復習(事後学修)</p>	<table border="1" data-bbox="443 1317 1377 1462"> <tr> <td data-bbox="443 1317 616 1393">各授業</td> <td data-bbox="616 1317 1377 1393" rowspan="2">「資料の下調べ」「授業内で生じた課題のミニ・レポート」などの課題を出す。課題はmanabaに提出することになる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1393 616 1462">[100分]</td> </tr> </table>	各授業	「資料の下調べ」「授業内で生じた課題のミニ・レポート」などの課題を出す。課題はmanabaに提出することになる。	[100分]
各授業	「資料の下調べ」「授業内で生じた課題のミニ・レポート」などの課題を出す。課題はmanabaに提出することになる。			
[100分]				
<p>評価方法</p>	<p>成績評価は、テーマ1~4のミニ・レポートをもとに行う（各25パーセント）。</p>			
<p>教科書等</p>	<p>『心の授業』ガイドブックー自分づくりの心理学ー三森創（著）北大路書房（1300円＋税）を教科書として使用。参考書は、授業の内容及び学生の要望に応じて、適宜紹介する。紹介された本はなるべく一度は図書館等で目を通すことが望ましい。</p>			
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>提出したミニ・レポートに対する講評をmanabaに掲載、必要に応じて解説を行う。</p>			
<p>その他</p>	<p>初回の授業で、本講義の目的・方法・成績評価法、シラバスの変更点等の重要事項を説明する。開講時期が3年次後期であるため、1年次の「発達心理学」より、さらに広く深く高度な内容となる。成績評価も厳しく行うので、発達心理学の学習内容を再確認して授業に臨むこと。なお、提出したミニ・レポートに対する全体講評をmanabaのコンテンツとして掲載するので確認すること。</p>			
<p>授業担当者の実務経験の有無</p>	<p>実務経験あり</p>			
<p>「授業担当者の実務経験の内容」および「実務経験を活かした授業内容」</p>	<p>小中学校のスクールカウンセラーの経験に基づいて、発達心理学における理論と実務について解説していく。</p>			
<p>ファイル</p>				